



グループ通信

発行/ふれディアグループ本部 編集部

〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町 5-9-32

全国相談窓口 ☎0120-116-017



こんにちは、ふれディア通信編集部です。 過ごしやすい気候の10月は何かと楽しみの多い時期ですが、「鉄道」が熱いシーズンでもあることをご存じでしょうか？ 新橋—横浜間に日本初の鉄道が開通したのが1872（明治5）年10月14日。 それを記念して10月14日が「鉄道の日」に制定され、各地で鉄道ファンに向けたイベントが行われます。 近年は女性や親子のファンも増えて、裾野が広がっているそうですよ。 さて、毎年JRでは「鉄道の日」に合わせて、「秋の乗り放題パス」というものを販売しているそうです。 JR線の普通・快速列車の普通車自由席やJR西日本宮島フェリーが3日間乗り降り自由になるとのこと。 そこで今回は、“秘境駅”と呼ばれる全国各地のちょっと面白いJR駅をご紹介します。 まずは長野県千曲市の「姨捨駅」です。 駅から見下ろす「善光寺平」と呼ばれる盆地の風景は日本三大車窓の一つに数えられ、写真愛好家や鉄道好きの間で人気を集めているそうです。 2つ目は福岡県久留米市の「田主丸駅」です。 このあたりは河童発祥の地と言われ、駅舎が河童の形をしており、ホームにも河童の銅像があるそうですよ。 3つ目は青森県深浦町の「轟木駅」です。 日本海を目の前に、木造の駅舎がひとつ佇んでおり、なぜか懐かしい気持ちになってしまうような趣ある駅です。 最後は北海道豊浦町の「小幌駅」です。 「日本一の秘境駅」とも呼ばれているので、険しい断崖を貫くトンネル間にあり、外へと繋がる道は線路だけなのだとか。 そのため利用者はほとんどおらず、付近の民家にも住む人はいなくなってしまったそうです。 一部のファンに愛されてきたこの駅は、2015年に廃止の危機に陥ったものの、たくさんの別れを惜しむ声で存続が決まった珍しい駅だそうです。 今秋には「秘境小幌」フォトコンテストというイベントも開催され、町が小幌エリアを題材にした写真を募集しているそうですよ。 写真の応募期間は9月1日～11月6日だそうです。 日本にはまだまだ魅力的な駅がたくさんあるので、この機会に列車の旅を楽しんでみてはいかがでしょうか。 それでは、これから肌寒くなりますので、お身体ご自愛ください。

ふれディア通信編集部

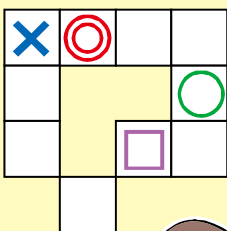
脳トレーニングで脳年齢を若く・脳を活性化!



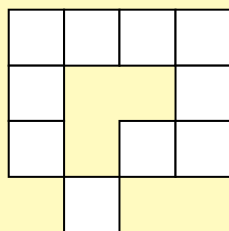
図の形と位置を暗記して書き込みましょう!

問題を“20秒間”見て、記入されている図形「○・◎・×・□」の位置を暗記し、解答欄に同じように書き込んでください。 問題は手などで隠して、見ないで解答しましょう!

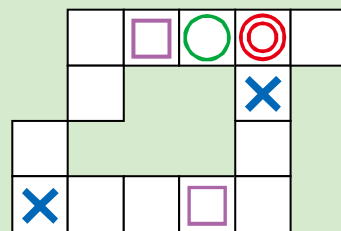
問題 1



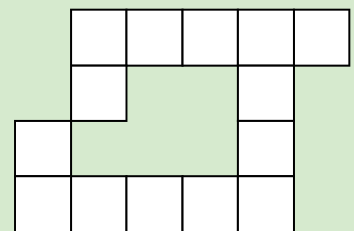
解答欄 1



問題 2



解答欄 2



すぐに諦めず、じっくりと思い出すことが脳の活性化につながります!